

科目名	精神障害作業治療学特論	担当教員	松田竜幸 ※印は実務経験のある教員を示す。
-----	-------------	------	--------------------------

開講専攻	分野	種別	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
作業療法学専攻	専門科目	選択	4年次	後期	1単位	講義

科目概要	事例報告、事例研究の文献をもととして、疾病性と事例性の混在する精神障害領域の対象者について、そのかかえている多層的な生活機能の諸点と作業療法支援の実際例から理解ならびに探求を深める。個々の症例を取り巻く状況は複合的な要因の相互作用によるため、一面的に終わらずに各々の生活機能の分析と関係性を踏まえることが必要である。対象者の意思、要望を踏まえた上で適切に作業療法支援を進めていくための段取りや考え方を身につけられるように進めていく。
学習目標	① 多層的な生活機能の諸点から作業療法の支援を理解する。 ② 包括的なアプローチの視点を理解する。

回	項目	主な学習内容	到達目標	実務経験 教員担当 項目
1	総論	症例性と事例性、包括的アプローチ、生活と自己、コミュニケーションについて	症例性と事例性、包括的アプローチ、生活と自己、コミュニケーションなど本講座の前提なる項目についての概要を理解する。	
2	包括的視点(1)生物学的視点	生物学的視点からの治療や支援について	生物学的視点からの治療や支援について理解する。	
3	包括的視点(2)心理学的視点	心理学的視点からの治療や支援について	心理学的視点からの治療や支援について理解する。	
4	包括的視点(3)倫理社会的視点	心理社会的視点からの治療や支援について	心理社会的視点からの治療や支援について理解する。	
5	生活への取り組み	精神障害領域における生活の状況と課題について	精神障害領域における生活の状況や課題、支援について学び理解する。	
6	自己像、意思表示	自己イメージと意思表示について	自己イメージや意思表示について効力感、環境や期待からの影響についても学び、理解する。	
7	コミュニケーションと集団	コミュニケーションの深さと対人交流について	対人交流属性や集団の特性をふまえ、コミュニケーションの深さや特性について学び、理解する。	
8	事例の検討	作業療法の実践事例の検討	取り上げられた事例からよりよい作業療法支援についての意見を提案し説明できる。	
評価方法		筆記試験(100%)		
教科図書		教員作成教材		
参考図書		山根寛『精神障害と作業療法第3版』三輪書店、2010年 上野武治・編『標準理学療法・作業療法学 精神医学 第3版』医学書院、2015年 香山明美、他・編『生活を支援する精神障害作業療法—急性期から地域実践まで— 第2版』医歯薬出版株式会社、2014年 石井良和、京極真、長雄眞一郎・編『精神障害領域の作業療法』中央法規、2010年		
学習の準備		事前に配布した資料については予習し、参考図書を活用した復習を行って講義に臨むこと。		
オフィスアワー		随時		
担当教員欄に※印を附した教員の実務経験				